



ぶっく★まーく

編集スタッフのおすすめ



このコーナーでは、情報・図書コーナーの中から、本紙スタッフがピックアップした本を紹介しています。

この他の本も、ぜひご利用ください。※書籍下の番号はセンターでの検索番号です。



**心を磨く
グレース・ケリーの言葉**

2011年 マガジンハウス
岡部 昭子 (著)

元ハリウッド女優で、モナコの公妃として52年の一生を終えたグレース。彼女の言葉とエピソードを読むと、凜とした生き様が偲ばれ、心が清れやかになる。(ルナ)

[100-0]



夫の終い方 妻の終い方
「お二人様の老後」を生きぬく
知恵と悪知恵

2012年 PHP研究所
中村 メイコ (著)

夫と思うから…妻と思うから…してしまうことを、「男」と「私」に戻してみたら程よい距離感が取れるかも。その個性を、面白がりもって素直に発揮できるかも。(ぼっと)

[200-1]



**防犯・防災
ひとり暮らしのあんしんBOOK**

2019年 大和書房
セコム・女性の安全委員会 (著)

セキュリティ会社の女性社員が「ひとり暮らしの女性が安心して暮らすため」の、防犯・防災の対策をまとめた。役立つ情報、満載。知恵と工夫で自らの生活を守ろう！(みっと)

[200-4]



**よかれと思ってやったのに
男たちの「失敗学」入門**

2019年 晶文社
清田 隆之 (桃山商事) (著)

なぜこんなにも？と感じる男女間の感情のずれ。「ある、あった、こんなこと」を例にして、その根底にあるジェンダー意識を説く本書をぜひ、あなたの「大切な一冊」に。(みっと)

[500-2]



**「はたらく」を支える！
職場×発達障害**

2017年 南山堂
五十嵐 良雄 (著)

発達障害を持つ労働者を支援する産業医や産業保健スタッフのために書かれた本書。多くの具体例が当事者や家族、支援者の参考になるはず。悩んでいたらぜひ一読を。(ルナ)

[800-2]



**ぼくはイエローで
ホワイトで、ちょっとブルー**

イギリスでの息子の中学生生活を見守る著者。移民も多く所得格差もある。いろいろあるのが当たり前の社会で育つ、息子たち。彼らの手の中に未来はある。(ぼっと)

[1100-3]

新着図書情報(一部抜粋)

図書名	検索番号	著者	出版社
女性のいない民主主義	400-3	前田健太郎 (著)	岩波書店
女性管理職1年目の教科書	800-2	野見山玲子 (著) 他	日本経済新聞出版
デンマークの女性が輝いているわけ	1200-1	澤渡夏代ブランド (著) 他	大月書店
かか	1200-2	宇佐見りん (著)	河出書房新社
結婚の奴	1200-3	能町みね子 (著)	平凡社

編集後記

センター図書コーナーでふと手にした一冊の本。だれかの心がないはずで、あちこちに汚れが…。表紙を開けるとまるで涙の形のような墨色インクの跡。本に残る「利用者の想い、関係者の願い」を心に留めて「この現実を紹介しよう」と決心した。タイトルは「ミシェル・オバマ。前向く女性の物語。(みっと)